

一組職場への技能長制度の導入について

当局提案

一組の業務執行体制の充実を目的として一組職場に技能長職を設置することが提案された。職務内容は、係長を補佐し、主に次の業務を担い安全と効率的運営に努めるものとするとし①係長の指示を受け技能系職員とともに業務を遂行すること。②職員に対する適切な指導・育成に努める。③委託業務を含む担当業務の監督等を行う、となっている。平成20年4月1日から設置するため今年度中に選考を行うとしている。

総支部の考え

総支部は対処方針(案)を明らかにし各職場での討議を求めている。

- i) 平成23年度から級各付け(いわゆるワタリ)がなくなり今のままでは技能主任(2級)止まりとなる。3級昇格の道をつくりできるだけ枠を拡げていく必要がある。技能長職の設置によって技能主任枠の飽和状態が多少なりとも緩和される。
- ii) 今回の技能長職の設置は「人材育成」計画に基く現業職種の必要性と有用性を強く意識したものであり、新規採用を念頭に置いた生き残り策である。
- iii) ただし、労務管理の強化に利用されやすい、昇任できる人は少数である、強制的な異動が行われる可能性、など問題点もある。

問題点を各職場で議論し解明要求を行い、設備管理職員にとって将来の幅を拡大するものであれば当局交渉で課題を確認し受け入れていく方向で考える。

支部の意見

大幅な賃金引下げを受け、特別昇格制度も2011年度で経過措置が終了してしまう。これから職場を担っていく若い人が将来に希望を持てるようにしていかなければならない。賃金面だ

けではなく、技術の継承にとって現業職種が欠かせないものであり、新規採用を迎え仕事においても将来に希望を持てる職場にしていく必要がある。こうした点から技能長制度の導入に賛成する。

職階制に伴う労務管理の強化にならないよう常に職場で対応していくことが必要である。

板橋区でも清掃職員新規採用

板橋区は清掃作業員の新規募集(若干名)を行いました。1月に申し込みを受け2月から選考が行われます。葛飾区に続き板橋区でも新規採用の道が開かれたこととなります。

アルバイト従業員への組合つぶしと

闘う清掃の仲間

自治労公共サービス清掃労組高嶺支部

清掃下請け会社の労働者で組織する自治労公共サービス清掃労組はアルバイト従業員の組織化をすすめています。高嶺支部は昨年4月からアルバイトの仲間を組合に迎え一時金、有給休暇、時間外労働などの労働条件改善を会社と交渉してきました。

ところが、会社は労働基準法を守るようにという要求に対しても何ら応えようとせず、一方的に就業日数を減らしたり、就業規則を無視した解雇を行うなど組合つぶしをしようとしています。

組合は労基署要請、労働委員会への不当労働行為救済申し立てを行い闘っています。

裏面の「ゴミトラニュース」を読んでください。